

| | | | |
|-----|------------------|----|-------|
| 項 目 | みどり豊かな森林環境づくりの推進 | NO | 3-4-1 |
|-----|------------------|----|-------|

| | | | |
|-----|------------------|-------|--------------|
| 事業名 | むらやま版・木のある生活推進事業 | | |
| 事業費 | 349 千円 | 担当部局課 | 村山総合支庁 森林整備課 |

1 目 的

身近に木に触れる体験を通じて、素材としての木の良さや木を使うことの大切さを伝えることにより、県民に地域材利用の意義や森林への理解を深めてもらい「県民参加の森づくり」の機運を高めるとともに、充実してきた地域森林資源の有効利用と森林ノミクスの推進につなげていく。

2 事業概要

木の良さや木を使うことの大切さを学ぶ木育プログラムの開発を行う。

(1) むらやま版・木育推進協議会の設置・開催

プログラムの企画・検討、試行、評価・検証するため、県、関係市町、幼稚園、小学校、木工等の実践者で組織したむらやま版・木育推進協議会を開催。

- 5/22 第1回協議会開催 協議会の進め方、木育プログラム検討（拍子木づくり、丸太切り）
- 7/13 木育プログラム試行 東原幼稚園 丸太切りとキーホルダーづくり
- 10/13 木育プログラム試行 東原幼稚園 丸太切りとキーホルダーづくり
- 11/12 木育プログラム試行 朝日町立西五百川小学校 拍子木づくりと森林の働き
- 12/26 木育プログラム試行 村木沢コミュニティセンター 丸太切りとコマづくり
- 2/27 第2回協議会開催 木育プログラム検証

3 成果と課題

【成果】

協議会によるプログラムの検討・試行・検証を行い、木育プログラム完成

(1) 丸太で遊ぼう！プログラム（樹木と木材のつながりを学ぶ）

- ・ 輪切りに挑戦 独楽づくり
- ・ 輪切りに挑戦 森のお守りづくり
- ・ 拍子木づくり

(2) 森林環境学習教材

- ・ 森の働き パネルシアター

布を舞台に見立て、不織布で作ったキャラクターを張り付けたり剥がして移動したり、裏返したり動かしながら説明する。

【課題・対応】

- ・ 刃物を使うなど危険を伴う
 - 体験者が判断しやすいように、安全度や難易度を表示
- ・ 体験者が主体的に取り組みできる仕掛け
 - 資材の販売元、指導者の連絡先、村山地域の木材や森林の解説、用語集及び森林の多面的機能等を盛り込み、体験者の視点から取り組みやすく、分かりやすく編集

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度むらやま版・木のある生活推進事業の取組事例】

むらやま版・木育推進協議会の開催



第1回、第2回 むらやま版・木育推進協議会

開催日 平成30年5月22日、平成31年2月27日

協議事項 地域の特徴を活かしたプログラムの開発及び教材の企画・検討など

概要

木工品製作者、製材業者、幼稚園・小学校の先生及び行政などによる協議会を設置し、専門家のアドバイスをいただきながらプログラムの企画・検討、作成、評価・検証を行いました。今年度は、委員から意見のあった樹木と木材のつながりを体験できる「丸太の輪切りに挑戦 独楽・森のお守りづくり」や「拍子木づくり」プログラムを作成しました。

| | | | |
|----|------------------|----|-------|
| 項目 | 豊かなみどりを守り育む意識の醸成 | NO | 3-4-2 |
|----|------------------|----|-------|

| | | | |
|-----|-------------------|-------|--------------|
| 事業名 | BEST!森づくりリーダー育成事業 | | |
| 事業費 | 341 千円 | 担当部局課 | 最上総合支庁 森林整備課 |

1 目的

最上地域の豊かなみどりを守り育む意識を醸成するために、森を守り、育て、暮らしに活かす、幅広い森づくり活動を実施できる人材を市町村と連携して育成する。

2 事業概要

(1) 「養成講座」の開催

- ・ 春、秋、冬の年3回。春、秋は2日、冬は1日で講座を開催。

場 所：山形県遊学の森(金山町)

対象者：一般県民で自然環境教育に関心がある方

受講者：春の講座 5月19、20日開催 24名参加。

受講者：秋の講座 10月21日、11月4日開催 42名参加。

受講者：冬の講座 H31年2月16日開催 19名参加

(2) 森づくり交流研修事業

- ・ 養成講座の参加者及び森づくり活動実施団体等を対象に、最上地域の森林・林業に関する先進的取組みを現地で体験する交流研修を市町村と連携して開催する。
 - ・ 年1回 H31年1月23日開催 15名参加

3 成果と課題

(1) 成果

- ・ 森づくりリーダー（森の案内人）として、必要な基礎的知識や技術を習得することができた。さらに指導者として参加者に怪我や事故のないように安全に配慮した活動する知識を習得できた。
- ・ 最上地域の森林・林業に関する先進的取組みを現地で体験でき、今後の森づくり活動の発展のきっかけとなった。また、森づくり活動する個人や団体間の交流やネットワークづくりができた。

(2) 課題

- ・ 参加者アンケートから、講座内容については概ね好評であるが、新規講座受講者が減ってきている一方、森づくりリーダー（森の案内人）の高齢化や、森の案内人として活動ができる指導者が減ってきていることから、この講座を継続して開催する必要がある。
- ・ 森づくり交流研修会では、視察地に応じ、開催時期等を検討する必要がある。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【BEST！森づくりリーダー育成事業の取組事例】

① 養成講座 【春の講座】



森の恵みを味わう講座（山野草）

【秋の講座】



森を楽しむ講座（ネイチャーゲーム体験）

【秋の講座】



「やまがた木育」講座

【冬の講座】



雪の結晶で楽しむ講座（積雪の断面観察）

② 森づくり交流研修事業（最上地域の森林・林業の先進的取組みを現地で体験）



スギ集成材工場



地域材活用施設

| | | | |
|-----|------------------|----|-------|
| 項 目 | 豊かなみどりを守り育む意識の醸成 | NO | 3-4-3 |
|-----|------------------|----|-------|

| | | | |
|-----|----------------------|-------|---------------|
| 事業名 | 置賜みんな一緒に森林活動ネットワーク事業 | | |
| 事業費 | 215 千円 | 担当部局課 | 置賜総合支庁地域保健福祉課 |

1 目 的

- (1) 森林活動に親しむことが難しい障がい者が、活動範囲を広げ置賜地域の山の素晴らしさを体感すること、また障がい者と関わることの少ない森林案内ボランティアが、障がい者の特定や補助技術を習得し障がい者を案内することを通して、互いの”心のバリアフリー”を推進する。
- (2) 障がい者森林案内ボランティアの技術等の向上と増員を図り、障がい者が安心して案内を依頼できる受け入れ態勢を構築すると共に、障がい者が気軽に自然に親しむことができる環境整備を図る。

2 事業概要

(1) 障がい者森林案内ボランティア養成講座(年2回)

障がいごとの特性や接し方の知識の習得及び、車椅子等徒歩以外での移動手段の補助技術の習得を行うと共に、実際に置賜地域の森林において障がい者の案内体験を実施する。

| | | |
|-----|----------------|--------------------|
| 第1回 | 平成30年7月11日(水) | 姫城公民館・羽黒の森(白鷹町) |
| 第2回 | 平成30年10月11日(木) | 南陽スカイパーク・十分一山(南陽市) |

(2) 障がい者森林体験(年2回 上記養成講座と併催)

実際に置賜地域の森林において障がい者が森林体験することで、置賜の森林の素晴らしさを体感し、森林案内ボランティア等との心のバリアフリーを推進する。

3 成果と課題

【成果】

森林活動に親しむことが難しい障がい者と、障がい者と関わることの少ない森林案内ボランティアと一緒に森林活動を行うことによって、心のバリアフリーを体感してもらうことができた。

【課題と今後の対応】

森林案内ボランティアの一層の資質の向上及び増員を図るため、引き続き養成講座と森林案内体験を実施する。

障がい者が気軽に森林体験できる環境整備のため、森林案内ボランティア同士が情報交換や森林案内の相互補完をすることが可能なネットワーク体制の構築を図る。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度置賜みんな一緒に森林活動ネットワーク事業の取組事例】

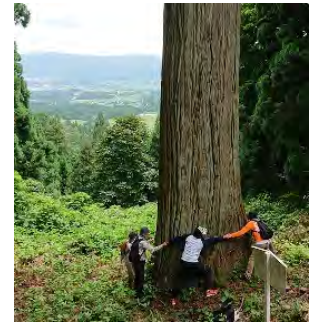
1 第1回 障がい者森林案内ボランティア養成講座

平成30年7月11日 姫城公民館・羽黒の森（白鷹町）で開催 24名参加



2 第1回 障がい者森林体験

平成30年7月11日 羽黒の森（白鷹町）で開催 67名参加



3 第2回 障がい者森林案内ボランティア養成講座

平成30年10月11日 南陽スカイパークログハウス・十分一山（南陽市）で開催



15名参加

4 第2回 障がい者森林体験

平成30年10月11日 十分一山（南陽市）で開催 35名参加



| | | | |
|----|----------------|----|-------|
| 項目 | 豊かな緑を守り育む意識の醸成 | NO | 3-4-4 |
|----|----------------|----|-------|

| | | | |
|-----|-------------------|-------|--------------|
| 事業名 | おきたま源流の森づくり活動推進事業 | | |
| 事業費 | 383 千円 | 担当部局課 | 置賜総合支庁 森林整備課 |

1 目的

- ・ 源流の森の来場者による森づくりなど体験活動の支援を行う人材（源流の森「森の案内人」）の養成
- ・ 源流の森で、企業、団体及び県民が森づくり活動に気軽に参加できるよう、活動フィールドの環境整備

2 事業概要

源流の森の新たな森づくり活動推進事業（継続）

○ 源流の森「森の案内人」養成講座の開催

開催日： 9月1日（総合講座） 10月27日（専門講座）

場所： 山形県源流の森（飯豊町）

対象者： 森づくり活動などに興味があり、源流の森にてボランティア活動が可能な方

養成講座終了後に「修了書」を交付するとともに、「源流の森案内人」への登録を要請し、登録者には、源流の森で自然環境学習や森づくり活動のサポートなどで活躍していただく。

○ 源流の森「森の案内人」の能力向上講座の開催

開催日： 11月24日

場所： 山形県源流の森（飯豊町）

対象者： 源流の森の案内人

○ 森づくり活動フィールド整備

源流の森で、企業、団体及び県民による植栽や施肥などの森づくり活動の安全を確保するとともに、気軽に参加できるようフィールド整備を行った。

- ・ 森づくり活動箇所の整備（カヤの除去）

成果

- 「森の案内人」養成講座については総合講座と専門講座の実施により5名の案内人が誕生
- 源流の森の約180haの県有森林の有効活用

課題

- 森林自然学習、森づくり活動への更なるサポート体制の充実
- 県民が気軽に、継続的に森づくり活動に参加出来るフィールド整備・体制づくり
- やまがた絆の森協定後の森づくりや企業の森づくり活動等への誘導
源流の森の活用に向けてのPRの推進

やまがた緑環境税を活用した取組み

【おきたま源流の森づくり活動推進事業】

森の案内人養成講座

源流の森



源流の森で森づくりなど体験活動の支援を行う人材（源流の森「森の案内人」）を養成するため、総合講座（9月）、専門講座（10月）、能力向上講座（11月）を開催。受講生は、森の案内方法、野外活動における救急処置法、自然と親しむネイチャーゲーム等を学んだ。

| | | | |
|-----|------------------|-------|-------------|
| 項目 | 豊かなみどりを守り育む意識の醸成 | NO | 3-4-5 |
| 事業名 | 出羽庄内公益の森づくり事業 | | |
| 事業費 | 418 千円 | 担当部局課 | 庄内総合支庁森林整備課 |

1 目的

庄内砂丘の海岸林は、厳しい自然との共生の中で培ってきた大いなる遺産であるが、現在、手入れ不足や松くい虫被害、さらには、外来種であるニセアカシアの侵入等の脅威にさらされている。この海岸林を、多様な主体の協働により保全し、健全な状態で後世に引き継ぐこと並びに森林を守り育てる意識の醸成を図ることを目的とし、下記の活動を実施した。

- (1) 多様な主体の協働による海岸林の保全
- (2) 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

2 事業概要

- (1) 多様な主体の協働による海岸林の保全

- ・出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催…3回

海岸林に関係する多様な主体(行政団体、教育機関、林業関係団体、住民団体等)がネットワークを組み、課題を共有し、統一した方針のもとに連携して協働による海岸林の保全活動を実施するため、現地検討会及び情報・意見交換を実施した。

- (2) 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

- ・森林ボランティア活動の支援…19回

森林ボランティア等の活動の企画・運営を行うとともに、各種団体や企業による森づくり活動への技術・安全管理指導と機材の貸し出し等の支援を行った。

- ・森林環境教育の支援…39回

職員出前講座である「地域ふれあい講座」等による「庄内砂丘林について」の講話や枝打ち、刈払などの森林整備体験活動及び自然観察などの指導について、保育園から高校・大学からの要請を受けて実施した。

- ・森づくり活動リーダー研修の開催…1回

森林ボランティア活動において、現地で技術・安全管理等の指導的役割を担う人材を養成するため、松くい虫被害・防除対策等に関する研修を実施した。

- ・森の案内人養成研修の開催…2回

森づくり活動や森林環境教育活動の指導者を養成するため、自然観察・ネイチャーゲームや野外活動での応急処置等に関する研修を実施した。

3 成果と課題

【成果(見込み)】

- 「公益の森づくりを考える会」の開催により、関係団体のネットワーク強化が図られた。
- 森林環境教育やボランティア活動への支援、研修会の開催により、地域で森林を守り育てる意識の醸成が促進された。

【課題】

海岸林の重要性等についての普及啓発を図るとともに、引き続き多様な主体の協働による保全活動の促進を図る必要がある。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成 30 年度出羽庄内公益の森づくり事業の取組事例】

① 多様な主体の協働による海岸林の整備

【出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催】 協働による海岸林の保全のための意見交換：3回



意見交換



現地検討会



② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

【森林ボランティア活動の支援】

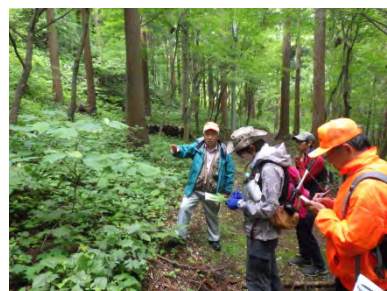
ボランティア活動の企画・運営、現地指導等 19回



光ヶ丘松林整備
ボランティア



森林整備ボランティア
砂防林を育てよう



「自然観察」研修

【森林環境教育の支援】

海岸林に関する講話、森林整備体験活動の指導等 39回



酒田市立浜中小 講話



酒田一中 枝打ち体験

【森づくり活動リーダー研修の開催】

現地で技術指導・安全管理等を行う
人材の養成 1回



「安全な活動」について
意見交換・団体間交流